

- 10 協議会の運営方法、事務局に対する意見、新たに取り組む課題等
協議会の運営方法、事務局に対する意見、新たに取り組む課題等については、表2-10のとおりである。

表2-10 協議会の運営方法、事務局に対する意見、新たに取り組む課題等

- ・現場従事者から「生の声」を吸い上げる方策を検討し、それを集約すれば答えが出るのではないか。
- ・現場における効率的な施工を促進するための工程管理に関する申合せ（ネットワーク工程管理マニュアル）を早急に行って欲しい。後工程に係る業種に対する”しわよせ”は、依然として現場における重要課題である。
- ・4つの申合せをしたことに敬意を表す。本年度は、これら申合せのフォロー、勉強等非常によいタイミングである。
- ・中小建設業の経営基盤の強化は、避けて通れない課題であると考えてるので、協業化、企業合同、企業合併を促進する方策についての検討が必要である。
- ・申合せ事項等について都道府県担当者に対して説明会等の開催が必要である。
- ・申合せパンフレットはコストの安いものを作成し、会員数に見合う部数を配布して欲しい。
- ・3Kではなく、3M（ムダ、ムリ、ムラ）排除の徹底が必要である。